

第 143 回東邦医学会例会プログラム

平成 26 年 2 月 12 日(水) 午後 5 時～8 時 10 分

平成 26 年 2 月 13 日(木) 午後 5 時～8 時 05 分

平成 26 年 2 月 14 日(金) 午後 5 時～8 時 15 分

12 日 東邦大学医学部第 3 講義室

13 日・14 日 東邦大学医学部大森臨床講堂(5 号館 B1F)

2 月 12 日(水)

開会の辞 _____ 新生児学講座 教授 與田仁志

当番教室:新生児学講座

A. 研修医発表 (大森病院初期研修医) 1 (発表:各 7 分, 討論:各 2 分)

座長: 佐地 勉教授(大森小児) 1～3 席 (5:00-5:27)

1. *Citrobacter koseri*による新生児重症髄膜炎の 1 例(7 分)

○稲葉正子, 日根幸太郎, 荻原佐江子, 水書教雄, 荒井博子, 川瀬泰浩, 與田仁志(新生児)
根本匡章(大森脳外), 佐藤高広, 吉澤定子, 舘田一博(大森感染管理部)

2. リネゾリドを第一選択とした感染性心内膜炎の 1 例(7 分)

梶原庸司

3. G 群レンサ球菌による劇症型レンサ球菌感染症(7 分) ○宮下 弘, 吉澤定子(大森感染管理部)

座長:周郷延雄教授(大森脳神経外科) 4～7 席 (5:27-6:03)

4. 慢性硬膜下血腫を合併したくも膜嚢胞の 1 例(7 分)

○寺園 明, 上田啓太, 原田直幸, 長尾考晃, 福島大輔, 榊田博之,
野本 淳, 近藤康介, 根本匡章, 周郷延雄(大森脳外)

5. 下肢しびれ, 電撃痛から神経梅毒が疑われた 1 例(7 分)

○増岡正太郎, 吉澤定子(大森感染管理部)

6. 悪性症候群の 1 例とダントロレンの効果に関して(7 分)

○木村文祥, 菅澤康幸(総診)

7. 脳死とされうる状態を経験した 1 例(7 分)

矢野健介

～ 休憩 7 分 ～

B. Clinico-pathological conference(CPC)

司会:名取一彦准教授(血液・腫瘍) 8 席 (6:10-7:10)

8. 睾丸腫瘍の自然経過

中島陽太(大森泌尿器), 石渡誉郎(大森病院病理)

C. 特別講演 1

座長: 與田仁志教授(新生児) 9 席 (7:10-7:30)

9. 話題の耐性菌と新しい抗菌薬療法の可能性(20 分)

微生物・感染症学講座 教授 舘田一博

-- 教育講演 企画担当:新生児学講座 (7:30-8:10) ----

座長: 田中政信教授(大森産科婦人科)

周産期人材育成推進室主催による周産期医療をとりまく課題と人材育成

一文部科学省「周産期医療専門スタッフの育成」採択事業の取組

広田幸子(周産期人材育成室)

2月13日(木)

第2日目 開会の辞 _____ 解剖学講座生体構造学分野 教授 佐藤二美

当番教室：解剖学講座生体構造学分野

D. 一般演題 1

(発表:各7分, 討論:各2分)

座長:金子弘真教授(大森一般・消化器外科) 1・2席 (5:00-5:18)

1. 東邦大学大森病院周術期センター口腔機能管理部門について(7分)

○小山修示, 堀江彰久, 福井暁子, 藤本慶子, 米山勇哉, 曾布川貴弘, 関谷秀樹(口外),
渡邊正志(大森医療安全管理部), 大岩彩乃, 寺田亨志, 落合亮一(大森麻酔)

2. 脳腫瘍硬度と画像所見との比較検討(7分)

梶田博之(大森脳外)

E. 研修医発表 (大森病院初期研修医) 2

(発表:各7分, 討論:各2分)

座長:金子弘真教授(大森一般・消化器外科) 3席 (5:18-5:27)

3. 肝細胞癌の画像診断(7分)

○石岡伸規, 鈴木秀明(大森放射線)

座長:遠藤平仁准教授(大森膠原病) 4~6席 (5:27-5:54)

4. 妊娠14週の妊婦における急性虫垂炎の1例(7分)

松本新吾

5. 間質性肺炎を合併した難治性皮膚筋炎の1例(7分)

○山口由佳, 金子開知(大森膠原病)

6. 皮膚筋炎に合併した悪性腫瘍の1例(7分)

○西川雄祐, 山本竜大(大森膠原病)

~ 休憩 6分 ~

F. 平成24年度プロジェクト研究報告 1

(発表:各8分, 討論:各2分)

座長:三上哲夫教授(病理学) 7~9席 (6:00-6:30)

7. サイトカイン情報伝達における分子修飾(8分)

○桑原 卓(免疫), 金山政洋(大森消内)

8. 大腸癌における肝転移予測に向けた基礎的検討:EMAST 発生の分子機構解明(8分)

○有田通恒(免疫), 菊池由宣(教育開発室)

9. 結腸・直腸がんにおけるがん・間質相互作用の分子病理学的解析(8分)

○深澤由里, 石井隆雅, 円谷佳代(病理)

座長:澁谷和俊教授(大森病院病理) 10~12席 (6:30-7:00)

10. DPC データを用いた患者安全指標に関する研究(8分)

○北澤健文(公衆衛生), 藤田 茂(医療政策), 中澤恵子, 大島正子(大森医療安全管理部)

11. エラストマーシールドダクロングラフトとゼラチンコーティングダクロングラフトへの

細菌侵入に関する研究(8分)

○佐々木雄毅(大森心血外), 柏谷 淳(微生物・感染)

12. トリコスポン血流感染症の病理組織学的検討(8分)

○笹井大督(佐倉病院病理), 鈴木 琢(大橋皮膚)

座長:根本匡章講師(大森脳神経外科) 13席 (7:00-7:10)

13. 頸動脈プラーク硬度と術前超音波画像所見との比較検討(8分)

○近藤康介, 福島大輔(大森脳外)

G. 平成25年度プロジェクト研究報告

(発表:8分, 討論:2分)

座長:根本匡章講師(大森脳神経外科) 14席 (7:10-7:20)

14. 太極拳実施にともなう高齢者の大脳皮質活性部位および抑制部位の同定(8分)

○中谷康司(統合生理), 只野ちがや(生物)

~ 休憩 5分 ~

H. 大学院生研究発表

(発表:各 10 分, 討論含)

座長: 杉山 篤教授(薬理学) 15・16 席 (7:25-7:45)

15. Desmoplastic reaction の大腸 SM 癌の層別化に対する有用性の検討(10 分)

木村隆輔(内科系), 指導教授:五十嵐良典教授(大森消化器内科)

16. pH 変化が nifekalant による心臓電気生理学的作用に及ぼす作用(10 分)

上総勝之(機能系), 指導教授:杉山 篤教授(薬理学)

-- **教育講演** 企画担当:解剖学講座生体構造学分野 (7:45-8:05) ---

座長: 佐藤二美教授(生体構造学)

免疫毒素による軸索変性法を用いた前脳基底部コリン作動性皮質投射について

村上邦夫(生体構造学)

2月14日(金)

当番教室: 外科学講座呼吸器外科学分野(大森)

I. 一般演題 2

(発表:7 分, 討論:2 分)

座長: 石河 晃教授(大森皮膚科) 1 席 (5:00-5:09)

1. Herlitz 致死型接合部型先天性表皮水疱症の1例(7 分)

○豊田理奈, 麻生敬子, 福士茉莉子, 小原 明, 佐地 勉(大森小児),

萩原佐江子, 日根幸太郎, 水書教雄, 荒井博子, 川瀬泰浩,

與田仁志(新生児), 中村元泰, 高田裕子, 石河 晃(大森皮膚)

J. 研修医発表 (大森病院初期研修医) 3

(発表:各 7 分, 討論:各 2 分)

座長: 中西員茂准教授(総合診療・救急医学) 2・3 席 (5:09-5:27)

2. フォーカス不明の Group G *streptococcus*(GGS)感染症の1例(7 分)

○稲葉 崇, 渡邊利泰(総診), 吉澤定子(大森感染管理部), 館田一博(微生・感染)

3. 診断に難渋した心臓腫瘍の1例(7 分)

澤田雅裕

座長: 坂本 晋講師(大森呼吸器内科) 4 席 (5:27-5:36)

4. リウマチ性多発筋痛症に急性間質性肺炎を合併した1例(7 分)

○臼井優介, 山本竜大

座長: 石井耕司准教授(大森消化器内科) 5・6 席 (5:36-5:54)

5. S 状結腸憩室炎にて保存的療法で治療困難だった1例(7 分)

小此木信一

6. 重症急性膵炎後膵膿瘍を来した1例(7 分)

○八尾進太郎, 伊藤 謙

～ 休憩 6 分 ～

K. 平成 24 年度プロジェクト研究報告 2

(発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 石井耕司准教授(大森消化器内科) 7・8 席 (6:00-6:20)

7. NAFLD の発症・進展における 7-ketocholesterol(7KC)の役割(8 分)

○山口 崇(佐倉糖代内), 高田伸夫(佐倉消内)

8. 食道癌症例における血清抗 RalA 抗体モニタリングの有用性に関する検討(8 分)

○大嶋陽幸, 名波竜規(大森消外)

座長: 黒田 優教授(微細形態学) 9～11 席 (6:20-6:50)

9. 下丘から内側膝状体へ投射する parvalbumin 陽性神経細胞の免疫組織化学的研究(8 分)

○高柳雅朗, Reeshan uL Quraish(生体構造)

10. 脳内ドーパミン作動性ニューロンの欠乏を引き起こす機構解明について(パーキンソン病モデルマウスを用いて) (8分) ○井上由理子(生体構造), 浜之上 誠(細胞生理)
11. 三尖弁形成術における機能温存のための臨床解剖学的検討(8分) ○川島友和, 村上邦夫(生体構造)

座長: 近藤元就教授(免疫学) 12・13席 (6:50-7:10)

12. 核内タンパク質 SATB1 (special AT-rich sequence binding protein 1)の免疫寛容の役割解析(8分) ○向津隆規(大森消内), 出口 裕(生化)
13. マウスの子宮 NK 細胞は妊娠 6 日目に著明に減少する(8分) ○高島明子(佐倉産婦), 石川文雄(免疫)

～ 休憩 5分 ～

L. 特別講演 2

座長: 土谷一晃教授(大森整形外科) 14席 (7:15-7:35)

14. 関節軟骨再生医療の現状と将来展望(20分)

整形外科学講座(佐倉) 教授 中川晃一

-- **シンポジウム** 企画担当:外科学講座呼吸器外科学分野(大森) (7:35-8:15) ---

座長: 本間 栄教授(大森呼吸器内科)

肺癌の集学的治療

(発表:各8分, 討論:各2分)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 呼吸器外科 | 秦 美暢(大森呼吸器外科) |
| 2. リハビリテーション科 | 大国生幸(リハビリテーション) |
| 3. 呼吸器内科 | 磯部和順(大森呼吸器内科) |
| 4. 放射線科 | 宮本一成(大森放射線) |

閉会の辞 _____ **外科学講座呼吸器外科学分野(大森) 教授 伊豫田 明**

- 1) 「休憩」は当日の進行状況によっては割愛することがあります。
- 2) 一般演題, 大学院生研究発表, プロジェクト研究報告, 医学研究科推進研究報告, 研修医発表, 分科会報告の演者は, 開催当日までに必ず「雑誌掲載用講演抄録」(演題, 演者名, 本文400字程度, Keywords英語3語以内*)の出力紙とデータ(FD・CD・USB等)を受付にご提出になるか, e-mail にデータ添付でお送りください(E-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp)。*Keywordsは東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。
- 3)特別講演の先生は, 例会当日より4週間後に4,000字程度にご講演内容をまとめて提出してください。
- 4)当番教室企画講演の先生は, 例会当日より4週間後に3,200字程度に総説形式の講演要旨として提出してください。
- 5)医学会賞受賞記念講演の先生は, 例会当日より4週間後に2,000字程度の講演要旨を提出してください。

※2)～4)5)とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。3), 4), 5)については, 詳細を受付におたずねください。

医学部第3講義室 内線:2242 5号館地下臨床講堂 内線:3862 PHS:75321(開催日のみ)